

米穀情報

JA北びわこにて米の出荷契約(主食用米)をされ、予約金をお申込みされた農家組合員の皆様には**出荷契約金(3,000円/俵)を 6/ 30(水)に振込予定**です。

また、ご希望に応じて庭先集荷にも伺いますので、JAへの米の出荷をお願いします。

**3年産も農家手取向上のため、JAは販売努力を致します。
出荷契約数量に応じた米の出荷をお願い致します。**

令和3年産米の出荷に向けて

令和3年産米の出荷に向けて、JAでは下に記載の方法にて米の出荷作業労力の軽減をお手伝いします。

・個人調製米の庭先集荷

お電話にて作業所等へ米の集荷に伺います。

・個人調製フレコン出荷(コシヒカリプレミアム米・JA米限定)

フレコンでの出荷により、作業の軽減ができます

※計量機等の設備が必要となります。

・乾燥調製施設への主食用米の本乾燥粳出荷

自家乾燥した粳(水分16%以下)を低料金にて施設で荷受けします。
粳摺り・粳殻捨て等の作業から解放されます。

利用料金 乾粳60kgあたり660円(税込)

※立毛での圃場乾燥は対象としません。

ご利用につきましては、事前のお申込みが必要となります。
詳しくは各地域のTAC担当へお問い合わせ下さい。



◆中干しの時期です

現在の生育状況ですが、5月中旬～下旬の最高気温が低く、日照時間も少なく推移し、5月中旬以降植えでは初期の分けつが少なく、生育は平年より遅れています。植え付けの早いほ場では中干しの時期を迎えています。

茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにしましょう！
中干し開始の茎数と時期の目安

【茎数】	栽植密度 (株/坪)	1株あたり 茎数	【時期】	移植時期	中干しの 目安時期
	70	14～15本		5月上旬	6月5日頃
	60	17～18本		5月中旬	6月10日頃
	50	20～21本		5月下旬	6月20日頃

写真:還元障害が出ている圃場
下葉が黄色、株基が黒い、株が細い



◆いもち病に注意！

気温が低く雨がが多い時はいもち病が発生しやすくなります。いもち病の出やすいほ場等では、箱施用剤を入れていてもいもち病の防除をするようにして下さい。また、ほ場内に置き苗があると、いもち病の発生原因となるので早急に処分して下さい。
※プレミアム米・スタンダード米を生産される方につきましては以下の剤を散布すると生産基準米から外れますのでご相談ください！

	農薬名	使用時期
予防剤	コラトップ1キロ粒剤12	葉いもち:初発10日前～初発時 穂いもち:出穂30日～5日前
	コラトップジャンボP	葉いもち:初発20日前～初発時 穂いもち:出穂30日～5日前
治療剤	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで



◆雑草対策(中後期除草剤)

ノビエが残ったらクインチャー、ホタルイ・オモダカ等の広葉雑草が残ったらバサグラン、クサネム・イボクサにはノミニ液剤が効果的です！

注:プレミアム米・スタンダード米を生産されている方につきましては、クインチャー剤以外の中後期除草剤の使用は、生産基準から外れますのでご相談ください。

区分	薬剤名	使用時期	1年生雑草			多年性雑草
			ノビエ	ノビエ 葉期	広葉	
中期剤	ハイカット1キロ粒剤(注)	移植後15日～収穫60日前	○	3.5葉期	○	○
後期剤	クインチャー1キロ粒剤	移植後7日～収穫30日前	○	4.0葉期	×	×
	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	×	—	○	○
	クインチャーバスME液剤	移植後15日～収穫50日前	○	5.0葉期	○	○

クインチャーの散布時は3～5cmの水深を保って下さい。散布後3～4日は湛水状態を保ち、7日間は落水やかかけ流しはしないでください。

バサグランは湛水状態で散布すると効果が薄れるので、**落水した状態**で散布しましょう。

◆穂肥の適期施用について

穂肥時期の判断は稲の幼穂長と、葉色を確認することが重要！
 コシヒカリは、穂肥の施用が早すぎると下位節間が伸びて倒伏しやすくなります。
 穂肥の多量施用や施用が遅れると玄米中のタンパク含量が多くなり、食味が悪くなります。
 なお、有機質の肥料は化成肥料より3～5日程度早めに施用していただく必要があります。

環境こだわり栽培に
 取組まれる方は化成
 窒素施用量(4kg/
 反)の上限にご注意
 ください。

表：出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	幼穂長 (mm)	備考
28日	0.3	
25日	1.0	倒伏しにくい品種「あきたこまち」「日本晴」などの穂肥時期
21日	2.0	
18日	5～10	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀羽二重糯」などの穂肥1回目
12日	40～60	
4日	-	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀羽二重糯」の穂肥2回目



幼穂2mm



幼穂10mm



土力UPチャレンジに取り組む最後のチャンスです！

米の収量品質向上対策には

中干し時期の **けい酸加里** 施用がオススメです！

キーワードは

光合成能力

「けい酸加里プレミア34」の効果

- 根張りが良くなり、根の活性を維持
 …高温による乳白米の発生を抑制するなど異常気象に強くなる。
- 直立受光態勢が良くなり、光合成が盛んになる
- 稲体の表皮細胞を硬くする
 …いもち病の抵抗性を高める、倒伏しにくくする。

施用量：20kg/10a

施用時期：中干し期～出穂40日前までに



* H27年産 試験事例(湖北町)

資材紹介【硫マグ25】

苦土(マグネシウム)は、作物が生きていくために必要なエネルギー生産の元である葉緑素の主成分です。マグネシウムが欠乏すると葉緑素の生成が低下し、光合成が衰えて炭水化物(エネルギー)の合成も減り、十分な生育が得られないなど、とても重要な役割を持っています。硫マグは、イネの還元障害からの早期回復に効果があります。

一度還元障害がみられる圃場に試してみてもはどうですか？

施用量：20kg/10a



大豆栽培～圃場準備編～

雑草防除

耕起前・播種前処理剤(10aあたり)

使用時期	薬剤名	薬液量	希釈水量
播種前(雑草生育期)	バスタ液剤	300～500ml	100～150l
耕起前または 出芽前まで	ラウンドアップマックスロード	200～500ml	50～100l

土壌改良

水田転作での大豆作付は、連作の有無に関わらず、作付のたびに地力が消耗し、収量の減少や品質低下が問題となります。土壌中に有機物が多いと根粒菌の着生が増加し、収量・品質が向上しやすくなりますので、堆肥等の有機物を施用し、地力を向上させる事が重要です。

大豆の生育に適した土壌pHは、**6.0～6.5**です。石灰質の土壌改良資材を投入し、生育に最適な土壌環境にします。併せて、大豆の生育(莢の伸長、子実の肥大)に必要なリン酸資材の施用も行います。↓↓↓↓↓↓

資材名	施用量	備考
新ふりかけ堆肥エコ	60～100kg	濃縮堆肥成分。散布量は通常堆肥の約1/10!
セルカオイスターミネラル	100kg	けい酸資材と有機石灰(セルカ)配合!
粒状ハレー28号	100kg	苦土石灰と重焼リンを配合
粒状苦土石灰	100kg	土壌の酸度矯正に効果的

排水対策の徹底

大豆は湿害により発芽不良、生育不良を起こすため、排水対策が最も重要となります。

麦作跡の溝を切りなおすなどして、排水対策の向上に努めましょう。



大豆栽培～種子消毒編～

種子消毒の実践で初期防除を確実に

大豆の紫斑病・鳥害対策に種子消毒を実施します。近年、種子消毒剤にクルーザーMAXXを使用する事で、苗立ち率に格段の向上が見受けられます。

今年度も、クルーザーMAXX専用処理機(攪拌機)を1台設置(西部RC 集荷場)いたします。

利用を希望される方は、**営農経済センター(78-2415)または各支店の営農経済係、各地域の担当TACまでご連絡下さい。**

※利用料金は無料です。



ちよ まぜ大ん
BS-100



適期播種で大豆収量増 ～慣行栽培で6月下旬頃から播種を！～

大麦は収穫が早いため、大豆播種準備に十分な時間が持てます。大豆は初期生育量の確保により収量増が見込めるため、遅れずに適期播種を実践してください。

慣行栽培は6月下旬まで、密植栽培は7月上旬以降を目安に播種できるよう圃場準備を行いましょ。

播種時期前半の播種は、播種下限量、播種時期後半の播種は播種上限量で播種しましょ。

品種・栽培体系	慣行	密植
播種時期	～6月下旬まで	7月初旬～
播種量	5～6kg/10a	8～10kg/10a

播種後除草剤について

雑草が多いと大豆の生育が阻害されたり、コンバイン収穫の際に汚損粒の割合が高くなるので注意が必要です。初期生育を確保するためにも播種日前後の天気をチェックし効果的な除草剤散布をしましょ。

播種直後処理剤(10a当たり)

薬剤名	使用時期	薬量	希釈水量
エコトップP細粒剤F	播種後出芽前(雑草発生前)	4～6kg	-
エコトップP乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	400～600ml	100l
クリアターン細粒剤F	播種直後(雑草発生前)	4～5kg	-
クリアターン乳剤	播種直後(雑草発生前)	650ml	100l

大豆の無選別調整での本乾燥施設出荷について紹介

煩わしい作業から解放されませんか？

皆様のお声をお聞かせください！

刈り取った大豆を水分13.0%以下まで乾燥していただき施設搬入！

施設搬入のため、選別・袋詰めの作業がなくなります！



現状

- ①乾燥
- ②選別
- ③袋詰め
- ④搬入



乾燥大豆搬入

- ①乾燥
- ②無選別調整での搬入



現在TACを通じて取組の利用意向調査を実施しています！利用を希望される方、興味がある方は各地域のTAC担当までお問い合わせください！

ケツ製 穀類水分計の点検について

米の水分は食味に大きく影響し、乾燥調製の段階では正確な水分測定が重要となります。また、米の検査についても正確な水分測定が重要です。この機会に点検を受けてみては如何ですか？

注:水分計の老朽化により、以前の点検で正確な数値が測定できない旨の通知をされているものにつきましては、点検できませんのでご了承をお願いいたします

対象型式 ライスタ・PB・PM(巡回点検時)
 ライスタ(巡回点検以外)

点検料金
(巡回点検時) 申込者負担 1台 1,000円(消費税別)
(巡回点検以外) 申込者負担 1台 1,500円(消費税別)



点検機種「ケツ製穀類水分計」

※部品交換、調製が生じた場合別途費用がかかります。

※今回の巡回点検以外の場合、別途送料が往復1台2,400円(消費税別) 必要となります。

※点検料金は購買未収金で請求させていただきます。

点検申込方法

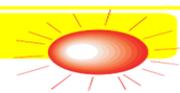
紛失防止のため、水分計のみお名前がわかるようにして、各営農経済係までご持参ください。
(ケース・付属品はお預かりできません)

持込期限:7月16日(金)

熱中症予防



夏の農作業で心がけること



1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

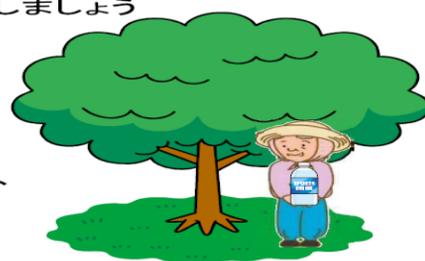
☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、
毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう

☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1Lの水に1~2gの食塩)、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。

☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。

☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう

☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう